



会長 小井田和哉 青少年奉仕 石橋 信雄  
副会長 村井 達 幹事 深澤 隆  
クラブ奉仕 小林 幹夫 会計 渡辺 孝  
会長エレクト 佐々木泰宏 会場監督 接待 一雄  
職業奉仕 橋本八右衛門 直前会長 道尻 誠助  
社会奉仕 妻神 和憲 副幹事 正部家光彦  
国際奉仕 妻神 和憲 会計補佐 紺野 広

例会日 毎週水曜日 12:30 例会場 八戸グランドホテル  
事務所 八戸市番町14 八戸グランドホテル内  
電話 (43) 0608 FAX (43) 0661  
e-mail rc8@vc.hi-net.ne.jp  
http://hachinohe-rotary.org/  
会報・広報委員長 菊地 幹 同副委員長 峯 正一  
同委員 村館 珠樹 同委員 奈良 全洋

国際ロータリーのテーマ — 2021~22 — 八戸ロータリークラブのテーマ

奉仕をしよう みんなの人生を豊かにするために

今できる親睦と奉仕を！

国際ロータリー会長 シェカール・メータ

八戸ロータリークラブ会長 小井田 和 哉

## 5月は青少年奉仕月間です

第3226回例会 2022.5.11

### 会長要件 小井田和哉 会長



ゴールデンウィークが終わってしまいました。今年は長い方で10連休の方もいらっしやったのではないのでしょうか。わたしは珍しく子ども

たちが全員帰省し、長女の配偶者と生後2か月の孫と総勢7名と犬2匹が家に寝泊まりして、さらにわたしの母と嫁の母を呼んで食事をしたりと、カオスのような家で連休を過ごしました。さすがに疲れました。皆さんはどのように過ごされましたでしょうか。ゴールデンウィークが終わると7月18日の海の日まで2か月以上祝日がないそうです。皆さんしっかり仕事をして、ロータリー活動も頑張ってくださいませ。

今回のゴールデンウィークは行動制限がなかったということで帰省、旅行などが多かったと報道されています。新型コロナウイルスの感染者数については減少ではなく、横ばいあるいは少し増えている状況ではないかと思えます。ゴールデンウィークの人の流れによっては今後もう少し増えてくる可能性もあるのかなと

思っています。とはいえ、世の中withコロナに全体的に移行しているような気がしています。感染してもオミクロンは重症化しにくい、あるいは入院せずに自宅療養で治るということで、ほぼほぼ風邪、インフルエンザと同じようなレベルではという感じをされている方も多いいと思います。

そうはいつでもできること、できる予防はするべきだと思います。ぜひこの例会でも可能なことはやっていきたいと思っています。今日から時間の短縮は止め、1時間しっかり例会時間を取っています。また今日からこの会場で食事を召し上がっていただく例会を行っていきたくと思っています。やはり食べる前はマスクをして、食べる時だけ外して、またマスクをしていただくということは出来る限り徹底していきたくと思っていますので、ご協力お願いします。

### 幹事報告 深澤 隆 幹事

○5月25日に予定している新緑例会の締切が近づいています。数多くの方にお申し込みいただきましたが、まだの方は出欠、宿泊につ



いて事務局までお知らせください。

○6月はプログラムの中で委員会報告を予定しています。各委員会委員長に依頼状とお

知らせをお送りしますので、宜しくお願いします。

○最近では感染者も増えてきて、濃厚接触者の定義もあいまいになってきました。現状では黙食でアクリル板をつけて食べる分には恐らく濃厚接触者にはならないかもしれません。食べるときはあまり声を出さずにお召し上がりいただき、食べ終わったらマスクをして会食していただければ濃厚接触者にはなりませんので、日頃の感染対策を含めて宜しくお願いします。

中高生の室内スポーツを元にした感染クラスターがかなり地域の感染状況に影響し、地域の基幹病院の市民病院でも院内感染で受け入れが中止されたりなど、状況的にはあまりよろしくない状況にあります。このままの感染状況では新緑例会は決行することになっていきますので、宜しくお願いします。

○本日ご欠席の築館智大さんから発表原稿を依頼されました。

6月3日(金)に新会員応援会を開催します。場所、時間、会費は参加者を見てからです。誰でも参加可能ですが、歴代会長・幹事、入会3年未満の方はぜひ参加をお願いします。人数により会場、時間、会費は考えます。連絡先は築館さんです。その日はグループの会長幹事会もありますので、出られる方も限られるかもしれませんし、あまり大人数でわいわいするとまだちょっと早いという気持ちもあります。

## 委員会報告

親睦・会場委員会

鴨澤 諭委員

○ニコニコボックスの報告

- ・誕生祝 中村稔彦さん
- ・奥様誕生祝 今 彰夫さん
- ・結婚記念日 撰待一雄さん



橋本八右衛門さん 週末のむつでの地区研修協議会、宜しくお願いいたします。

広瀬知明さん ロータリーの友ビブリオバトル、よろしくお願い致します。

鶴飼寿栄さん ごはんが食べれて良かったですネ。

小井田和哉・福井哲郎・渡辺 孝 } ニコニコ  
佐々木泰宏・山田慶次さん } デー

水曜会ゴルフコンペ報告 松本剛典さん



4月29日に第1回水曜会を八戸カントリークラブで行いました。当日は肌寒い天候でしたが総勢20名のコンペを無事に終えました。

栄えある第1回優勝者は高谷勝義さん、準優勝者正部家光彦さん、第3位は渡辺孝さん。懇親会で総会も兼ねた表彰式を行い、久しぶりの懇親会も盛り上がりました。

次回は7月5日十和田国際カントリークラブで行います。皆様奮ってご参加ください。

ロータリーの友委員会

「ロータリーの友5月号でビブリオバトル」

広瀬知明委員長



今日の例会はロータリーの友5月号でビブリオバトルです。去年からビブリオバトルの取り組みを始め、コロナなどでできないときもありましたが、何とかMテーブルまでこぎつけることができました。

きょうは最終決戦で会長、幹事、副幹事にビシッと決めていただければと思います。

「低年齢化する子どものメディア漬け

～2歳児問題～」

小井田和哉さん



この記事を取り上げたのは、やはり孫が生まれたのが大きかったと思います。まだ2か

月ですが、3か月になったら東京に帰ってしばらく会わないうちに気が付いたら2歳か。その頃ゲームばかりしておじいちゃんが話しかけても全然かまってくれないのは寂しいなということで、今のうちから娘にもこういうことがあるから気を付けろということをおうかと思っ、この記事を読んでみました。

まず「2歳児問題」はどういうことなのかを簡単に話したいと思います。ネットやゲーム、スマホなどのメディアを夜遅くまでやって、長時間使って生活のリズムが崩れてしまう。学校に行かなくなる、ゲームをやめなさいと家族がいうと怒って暴言を吐いたり、ものを壊したり、暴力をふるったりというところまでいってしまうこともある。そういった問題。これがいつから、何歳頃からこういうふうなゲームやスマホにはまっちゃったの？それをいろいろアンケートをとって調べたら、一番年齢が低いところで2歳児だった、ということがわかった。それで「2歳児問題」を取り上げているようです。

保育園児あるいは幼稚園児の4歳から6歳くらいの子どもをもっているお母さん方にアンケートを取ると、4～6歳の7、8割の子がもうスマホやゲームに触っている、いじっている。もっと小さい子でいうと1歳児で約2割、2歳児では5割がスマホをやっている。さらに5割の2歳児のうちの8割がもう夢中になってやっている。やめさせようとする怒ったり、機嫌が悪くなる、癇癪を起す子もいる。スマホ依存に近い反応を示す子が1歳児で17%、2歳児になると23%くらいいるということで、これはひじょうにびっくりする数字。

記事に書いていませんでしたが、おそらく親が子どもが騒がないように、ちょっとおとなしくさせたい、あるいは自分が何かをやっている子どもの相手ができないときに安易にスマホを持たせてこれで遊んでいてというのがあって、それが習慣化したのか。そういうことがあるのかなと思いました。そうはいつでもこの割合を見ると、そう簡単にスマホを

小さいうちからやらせるものではないということを実感しました。

余談ですが、皆さん今でこそ、ちょっと時間があるとスマホをいじると思いますが、子どものころはネットもスマホもなかったです。調べたら昔、時計がついたゲームウォッチ、これは1980年発売。わたしが12歳のときです。ファミコンはわたしは買ってもらえませんでした、これは3年後の1983年発売。インターネットは一気に普及しましたが、2000年代初め、2001～2003年あたりに電話回線を使ってネットができるADSLが急拡大して一般家庭でネットができるようになりました。そういうことを考えると、わたしたちが子どもの頃にはなかった問題、スマホ依存、ゲーム依存症などが今問題になっているということがわかるかと思います。

最終的にいいますと、この2歳児問題は親と大人が原因を作っている。2歳児が自分で契約してスマホを持つことはない、親が契約したスマホや親が買い与えたゲーム機でこういうことになっているということです。まずは家庭でゲームを使うルール作りを子どもが小さいうちからちゃんと決めるのが大事だということが書かれています。皆さんもお子さんやお孫さんが将来的にスマホ依存、ゲーム依存にならないように、今のうちから家庭内でルールを決めてそれをしっかり守らせるということをしていただければと思います。そのためにぜひこの記事を読んでいただきたいと思います。

**Q小林：**スマホ依存にならないようにご自身の子どもさんと孫に何を言ってあげたいですか？どういことを伝えればよいと思いますか？

**A小井田：**わたしたちの時代と違って、今の子どもは生まれたときからスマホやゲーム機があるのが当たり前。それをまったく使わないということではなく、ちゃんとルールを作ってそれを守らせなさいということをお教へたいと思っています。

**Q広瀬：**ご自身のお子様方のときにはたぶん



テレビゲームがあった世代だと思いますが、  
どういうルールを作られていましたか？

A 小井田：小さい頃からあまりゲーム機には  
触らせていなかった。ただ時間は決めてやり  
なさい。親がいるときにやれ、親が二人とも  
出かけているときはやめよう。スマホ（携  
帯）は中学3年くらいで買い与えました。  
（何かやったら取り上げるということ）

### 「若年化する薬物パンデミック」

深澤 隆さん



青少年奉仕月間ということ  
もあり、過去の経験からすご  
くインパクトがあったので  
「若年化する薬物パンデミッ  
ク」、違法薬物に対する乱用、

依存が増加しているという記事でした。

2人の方が記事を寄せています。1人目は  
公益財団法人麻薬覚せい剤乱用防止センター  
幹事の中山さんという方が総論的なお話を寄  
せています。あまりニュースになることが芸  
能人ネタとか、最近では大麻が気軽に手に入  
るようになってしまったのかもしれませんが、  
そういうメディアの影響もあるのか若年化し  
ているという数字が露骨に出ています。

具体的に大麻における検挙人数をHP上で  
公開しています。2011年には全体で1,759人  
だった検挙は10年後の2020年5,260人まで上  
がっている。特記すべきなのは若年化。20歳  
未満が11倍に数が増えている。この年代の人  
口はかなり減っているの、それを加味する  
と15、16倍くらいになるのではないかと。大麻  
乱用が若年化しているというのが数字からみ  
てもよくわかります。

実際に薬物というと以前はコカイン、シン  
ナーというところが乱用薬物としては中心的  
でしたが、その後、覚せい剤や大麻といった  
ものに乱用が移っています。それはコロナ禍  
も含めたこういった人と人との関係があまり  
密ではなく、さらにSNSを利用して手に入  
るようになったことが背景にあるだろう、と  
いうことで指摘しています。実際に特集では  
覚せい剤、コカイン、NMDA、LSD、大

麻などの特徴をしっかりと書いていますので、  
詳しく読むとどういう薬物はどういう作用が  
あって、どういう影響があるかがお分かりい  
ただけるとおもいます。

注目すべきは大麻の使用動機としてのデー  
タも載せています。実際にはやはり好奇心、  
興味本位。特に大学生ではそのようなことが  
多いと言われています。やはり人間関係、誘  
われたから。特記すべきは医療用マークとい  
うことばが出回っていますが、実際にたばこ  
や酒よりも安全といったものがネットでは飛  
び交っているようです。実際に安全ではない  
し、もし使ったら捕まってしまう。そう  
いった誤った情報に動かされることがないよ  
うにということをお話しています。

2人目はロータリークラブの取り組みです  
が、東京恵比寿ロータリークラブの古谷さん  
という方が取り組みを載せています。実際に  
恵比寿ロータリークラブは地元が渋谷で、乱  
用する若者が集まりやすいということで、  
1997年から地元の中学校向けに実際に会員が  
いろいろな話をしながら薬物防止キャンペ  
ーンをしている。特定の中学校、広尾中学校3  
年生に「薬物乱用防止教室 絶対ダメ」の講  
義をしている。この方が言っているのは若者、  
とにかく若いうちから乱用に対する意識を植  
え付けるのが重要。渋谷区全域の中学校に広  
げていきたいと言っています。1つのクラブ  
でできるかわかりませんが、そういった取り  
組みをしているクラブがあることの紹介です。  
興味のある方はお読みください。

このテーマを取り上げた1つの理由として、  
わたしが大学病院で働いているときに統合失  
調症という病気があって、だいたい同じ年代、  
20代前後に発症します。統合失調症の患者さん  
がある白い粉末をもって駅前で倒れていて、  
その人が救急車で運ばれてきた。さてどうす  
る。診断もついていないし、幻覚、妄想を訴  
えていて、この白い粉は一体何だ。本人は意  
識喪失で倒れている。すったもんだで、警察  
を呼ぶべきか、この粉を誰か舐めてみたら  
いいんじゃないか。わたしは精神科医で救急に  
呼ばれましたが、統合失調症を発症していて、

その白い粉は本人が誰かから狙われているという妄想を防ぐために塩を持っていただけだった。

東北の地域の医療機関ではあまりないですが、都内ではそういったことが救急医療現場でも問題になっているということだったので、取り上げてみました。ぜひ興味がある人がいたらお読みください。

**Q 紺野：**わたしは若いころ二戸で当直をしていたときに警察が来て、おしっこを採ってくれと言われたことがありました。中毒の人がいたので。調べたら、それに応じる義務はないようですが、一応採りました。今、八戸やこの近隣の薬物中毒の情報は、

**A 深澤：**患者として来ることはほとんどなく、救急の先生とも市民病院の先生とも話しましたが、まだそういうものがない。実はドラッグよりも医療品や市販薬の依存がけっこう多く、そちらに対する問題のほうが深刻です。アルコール依存もかなり問題になっていて、ある意味、依存というキーワードは今後精神科医療のみならず、医療全体の問題になってくると言われています。ネット依存、ギャンブル依存、セックス依存などいろんな依存がある中で、そういったところに対する対応は、治療法がないなかでわれわれ専門医療機関としてどのように対応するかを今課題として考えています。もしかしたら、将来的にはクラブの力を借りて、啓発などもしなければいけないのかなと感じています。

**Q 種市：**警察の話が出たので、この辺は大麻がけっこう群生しています。大杉平の後ろの辺りから南郷の方などいくらでもあります。ただそれがわからないで見過ごしている方が多いと思います。それを鉢に植えたりして自宅に置いたりすると違法になります。大麻取締法は日本の警察は厳しくしていますが、海外にいくと割と大麻は麻薬扱いされないことが多いです。ちょっと向こうで種を買ってきたりするとしっかり逮捕されます。

睡眠薬を欲しいといってくる方がちょくちょくいます。そういう方はたいていいくつ

かの医療機関を回っています。だから医師会でももう少し徹底して、今でもインターネットを使ってこういう方が来たら気を付けてくださいとメディカルネットワークで流していますが、思ったより薬物の蔓延が広がりつつあります。手軽なところでは睡眠薬、ハルシオンなどが有名ですが、保険だと1錠80～100円くらいですが、六本木では1錠2000円で売れるそうです。だから2週間分もらって東京に行くと旅費は簡単に出ます。それを裏の世界の人でない人までやっているという話を警察の話で聞きました。そういうことを見つけたら、ぜひ止めさせるようにしていただきたいと思います。絶対習慣になりますので、気を付けていただきたい。

この辺は大麻草は群生しています。葉っぱを知らないで採ったり、家畜が食べたりすることがありますので、気を付けていただきたいと思います。採ったら違法になります。分かっている採ったら捕まります。

#### 「全国一斉献血呼びかけ ～ローター

#### アクターが献血不足の問題を提起」

正部家光彦さん



4 ページにわたって「全国一斉献血呼びかけ～ローターアクターが血液不足の問題を提起」の記事を紹介します。

選んだ大きな理由はただ1つです。われわれがバックアップしているローターアクトクラブが今休止状態にありますので、再開にあたって何かヒントをもらえるのではないかと考えました。この4ページにわたる記事を読んで、わたしはたいへん感動しました。全国の多くのローターアクターがひじょうに達成感に満ちた晴れやかな表情をして写っていること、記事を読んでもノウハウの共有であるとか、ローターアクターの思いがひじょうに詰まっていた、それらが伝わってくる文章だと思っています。

余談ですが、献血というと皆さんどういふふうなイメージをお持ちでしょうか。来る前に職員に聞いたところ、献血はたいへんいい

ことだと思う。やりたいと思うけれど実際にいつ、どこでやっているかわからない。ということがありました。八戸も吹上にあった赤十字が今なくなって、献血車だけで賄っているようですが、献血はいいことだという意見が多かったです。父親が手術をしたときに輸血をしてもらってたいへん感謝しているという人もいました。

皆さんの中で今まで献血をしたことがある方はいますか？ いっぱいいますね。わたしは血を見るのが大の苦手ですが、献血というと1つの忘れられない思い出があります。わたしは弘前の大学3年生の時に雪が降っているときにアパートで勉強していたら、RABラジオからO型の血液が今不足しています。この放送を聞いている方で献血できる方があれば今来てください。というのが流れました。これは自分では行かなければならないという思いで病院に行って、親族にたいへん感謝された思い出があります。後にも先にもこの1回しか献血していません。

2660地区、大阪中央アクトクラブの重留さんの文章です。30年にわたって献血の啓発活動をこれまで行ってきた。日本赤十字社単独で行うよりもローターアクトと一緒にやることで、1日当たりの採血者数を倍増させた実績があるそうです。このコロナ禍において献血者数がすごく減ってきているので、これは大変だ。これは日本全国で起きている問題ではないか、ということで全国のローターアクト地区代表に賛同を求めたら、何と全国で21地区から賛同を得て、そして定期的に会合を行うまでになっているということです。詳しくは記事を読んでいただきたいと思います。

ローターアクトが八戸でも立ち上がったら、この活動は1つ外せないのではと思いました。理由は2つあります。1つは人の命をつなぐ活動をしていること。もう1つは全国にも同じ志の若い仲間たちがいることでつながっていくことで、これは青少年あるいはローターアクト、インターアクト委員の皆さんだけではなく、皆さんで共有して大きな活動の1つの柱になるのではないかと考えています。

最後のページQ&Aが載っています。なぜ献血が必要なのか。献血に種類があるのか。あるいは献血は何歳から何歳までできるか。献血は何歳までできるかご存じですか？ 69歳までだそうです。70歳の前であれば献血ができます。

最後になぞかけを1つ。献血とかけて学者と解きます。その心はどちらも血(智)で世の中の人々に貢献します。学者は大学の教授のようなインテリジェンスの智、献血の血。お金の献血はdonationですが、献血は英語ではblood donationといいます。

**Q松本：**血が不足しているというお話ですが、本当にそうですか。

**A紺野：**本当に足りません。ウイルスが見つかる検査費用がかさんでいます。献血事業に関しては国が全部料金設定をしますので、日赤は事業体としてやっていますが、トントンの事業として国から委託を受けている感じです。青森も3か所あった献血ルームが他の県は1か所ですが、2か所に減るなど集約化せざるを得ない。採血業務に関して少し力が低下しているのは否めない事実です。八戸は献血車が回ってきて献血をしています。わたしは病院でやる時は手上げをしても病院関係者は意識が高いので、わたしが入り込む隙がなくいつもはねられます。採血事業に関する力の低下があるのかもしれない。

ただやっても来ないというところに関して、ローターアクトが活躍してくれていることに関して、すごくありがたいことだと感じます。**Q：**うちの会社にも献血車を呼んでいただければ、少しでも協力できればと思っています。

**広瀬：**きょうのビブリオバトルは期せずして医療シンポジウムという形になってしまいました。今発表したお三方の記事のうち、どの記事が一番読みたくなったかということで手を挙げてください。正部家次期幹事が今回の優勝となりました。

次回はビブリオバトルをしなくて、ローターの友の報告になります。